声・お便り

VOICE & LETTER

いつも広報ふだいを楽しみにしています。先月号に載っていた日本一周ができる距離をインターネットで調べ、結果が分かりました。1万8880キロメートルだそうです。1日1キロずつ歩くと50年かかるようです。がんばってください。

熊谷久美恵さん（盛岡市・8歳）

ありがとう。そうですか1万8千キロもありましたが。小生が調べた距離も同じでしたよ。ちなみに「日本一周歩数計の旅」という商品もありました。全国1258カ所もの地名や名産、名所の情報が収録されている歩数計のようです。面白そうですね。

広報係

瞳の奥のその奥にも心の中の「ホ」の字が

春の風　やさしく　吹いて
揺れていた　白いカーテン
ゆらゆらと　女の　夢よもう
一度
あなたも　私も　幸福に　時
計の針は
朝六時をさしていた
いつでも　どこでも　ほれて
いる
「ホ」の字は咲いて
二人でつづる　恋日記
列車の汽笛が遠くで鳴りて
下田八重さん（堀内・63歳）

最近、日中は暖かくなり普代でも遅い春の訪れを感じますね。

広報係

広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は中央区の金子功さんから、②は17ページからの出題です。

①普代弁には「コッ・きがきぐ」のように言葉の最初に「コ」を付けて話す言葉がたくさんあります。さて「耳がちょっと遠い」は次のどれでしょうか。

Ⓐ コ・アブナイ
Ⓑ コ・キカズ
Ⓒ コ・ズルイ

②今年4月に新しく普代児童館に入園する予定の子どもは何人でしょうか。

Ⓐ 18人
Ⓑ 19人
Ⓒ 20人

【応募の方法】

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。匿名での応募は無効になります。はがきに今月号の感想や意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。

☺あて先…〒028－8392 普代村9－13－2　普代村役場広報クイズ係

☺締め切り…4月9日(水)当日消印有効

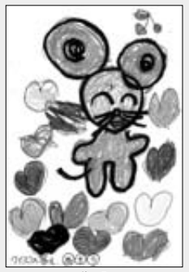
☺2月号の答え…あ（滑り台の子）、う（マフラー）、き（キノコ）

☺応募総数…6通で6人の方が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。

☺当選者…①熊谷久美恵さん（盛岡市・9歳）②谷地真鈴さん（力持・6歳）③赤坂旺一郎くん（白井・6歳）④道上朋子さん（白井・10歳）⑤赤坂日菜子さん（白井・8歳）

みんなのイラスト展

熊谷久美恵さん（盛岡市・9歳）


佐藤理子ちゃん（上区・5歳）

赤坂日菜子さん（白井・8歳）

赤坂旺一郎くん（白井・6歳）

谷地真鈴さん（力持・7歳）

道上朋子さん（白井・10歳）

普代ポイントカード会からのお知らせ!!

今お使い頂いている「ためんびゃあカード」の使用期限は、平成19(2007)年8月31日までとなっていますが1年間延長して**平成20(2008)年8月31日**まで使用できるものといたします。お買物はポイントカード会員のお店を御利用ください。

私が三年生になってから読んだ本の中に、わすれられない本があります。私は、この本を読みながらしたことがあります。それは、目をとじることと耳をふさぐことです。

私が、読んだ本の主人公は、ヘレン・ケラーと言います。ヘレン・ケラーは、目が見えず、耳がふ自由で口もきけず、それでも、同じくるしみをもつ人のためにはたらきつづけた人です。ヘレンの気もちに近づきたくて、目をとじ、耳をふさいでみるとたったの五秒ぐらいだったのにすごく長い時間にかんじて、こわくなってしまいました。

ヘレンの、小さいころは、大人の人にりこうだと言われていました。しかし、ある時、とても高いねつをだしてしまい、その日から目と耳を悪くしてしまいます。目は見えなくなり、耳は音が聞こえなくなるということです。ものを話すこともできません。まっくらなせかいにいるヘレンは、毎日、どんな気もちで生活をしていたのだろう。私も高いねつを出すことがありますが、目は見えるし、耳は聞こえます。友だちとおしゃべりをしたり、家ぞくと会話したりすることができます。そして、きれいな音楽、鳥や虫の鳴き声を聞くことができます。きれいなけしきや、アニメ、本を読むことができます。ふだん、当たり前にやっていることがしあわせなことなのだと思いました。だから、私は、ヘレンのことをとてもかわいそうだと思っていました。でも、その考えは、本を読んでいるうちにかわっていきました。

ヘレンは、サリバン先生に出会ったからです。サリバン先生は、ヘレンに「いつか、きっと、光をあげる。」と心にちかいました。ごはんの時やべんきょうの時にたたいたり、ひきずったり、とてもきびしく教えました。でも、それは、サリバン先生がヘレンのことを大切に思っているからだと思います。まるで、お母さんのようにです。

ヘレンは、いろいろなことを学びました。かなしいという気もちも知ることができました。かなしいとなみだが出るということもわかりました。そして、はじめて、井戸の水をさわった時、ヘレンの中に「水」という言葉が生まれていきました。私は、とってもうれしくなってきました。ヘレンは、サリバン先生から光をもらったのだと思います。まっくらなせかいで生きていても、心の中は、流れる水のようにきらきらとかがやいていたんだと思います。だから、同じ苦しみをもつ人たちに、サリバン先生からもらったのと同じ光をあげられたんじゃないかと思いました。

「くじけず、がんばって、えらいね。」

「サリバン先生に出会えてよかったね。」

私は、ヘレンと話してみたいと思いました。「百年いじょうも後に生まれた私たちに、光をありがとう。」そうヘレンに言いたいです。**（原文のまま）**

小学校低学年の部

「ヘレンが私にくれたもの」

普代小2年　銭袋　あかねさん

キャッツ アイ
CAT'S EYE
おかげさまで3月16日をもちまして開店8周年を迎えます。今後ともキャッツアイをよろしくお願いいたします。
＊OPEN 19:00~
＊CLOSE SUNDAY
＊TEL：35－3625

卒・入学記念撮影
予約受付中！
肖像写真技能士
カトウ写真館
パソコン画像処理やってます
ネガが無い、傷がある写真を美しくスピード仕上げいたします
特典付き
撮影して頂いた方 MYカレンダープレゼント！
撮影のご予約お問合せは ☎(35)2594